【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成20年9月18日(2008.9.18)

【公開番号】特開2007-199669(P2007-199669A)
【公開日】平成19年8月9日(2007.8.9)
【年通号数】公開・登録公報2007-030
【出願番号】特願2006-292937(P2006-292937)
【国際特許分類】
　Ｇ０３Ｇ　　5/08　　　(2006.01)
　Ｇ０３Ｇ　　5/047　　(2006.01)
　Ｇ０３Ｇ　　5/147　　(2006.01)
　Ｇ０３Ｇ　21/00　　　(2006.01)
【ＦＩ】
　Ｇ０３Ｇ　　5/08　　　３１１
　Ｇ０３Ｇ　　5/08　　　３０１
　Ｇ０３Ｇ　　5/047
　Ｇ０３Ｇ　　5/147
　Ｇ０３Ｇ　21/00　　　３５０

【手続補正書】
【提出日】平成20年8月1日(2008.8.1)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
画像形成装置において回転可能に支持される電子写真感光体であって、
円筒状基体と、前記円筒状基体上に形成されているとともに潜像形成領域を有する感光層と、を備えており、
前記感光層は、前記画像形成装置に組み込んだときに前記潜像形成領域における軸方向の第１の端部が、前記第１の端部とは前記軸方向の反対側に位置する第２の端部よりも強く押圧されるものであり、かつ、
前記感光層における前記第１の端部の厚みは、該感光層における前記第２の端部の厚みに比べて大きいことを特徴とする、電子写真感光体。
【請求項２】
前記感光層は、光導電層および表面層を含んでおり、
前記光導電層および前記表面層のうちの少なくとも一方は、前記第１の端部における厚みが、前記第２の端部における厚みに比べて大きい、請求項１に記載の電子写真感光体。
【請求項３】
前記光導電層および前記表面層のうちの少なくとも一方は、前記第１の端部における厚みが、前記第２の端部における厚みの１．０３倍以上１．２５倍以下である、請求項２に記載の電子写真感光体。
【請求項４】
前記光導電層は、前記第１の端部における厚みと前記第２の端部における厚みとの差が１．０μｍ以上７．５μｍ以下である、請求項２または３に記載の電子写真感光体。
【請求項５】
前記表面層は、前記第１の端部における厚みと前記第２の端部における厚みとの差が０

．０３μｍ以上０．２１μｍ以下である、請求項２から４のいずれかに記載の電子写真感光体。

【請求項６】

前記光導電層および前記表面層のうちの少なくとも一方の厚みは、前記第２の端部から前記第１の端部に向かって漸次大きくなっている、請求項２から５のいずれかに記載の電子写真感光体。

【請求項７】

前記光導電層および前記表面層のうちの少なくとも一方の厚みは、前記第２の端部から前記第１の端部に向かって厚みが段階的に大きくなっている、請求項２から５のいずれかに記載の電子写真感光体。

【請求項８】

画像形成装置において回転可能に支持される電子写真感光体であって、

円筒状基体と、前記円筒状基体上に形成されているとともに潜像形成領域を有する感光層と、を備えており、

前記感光層は、前記画像形成装置に組み込んだときに前記潜像形成領域における軸方向の第１の端部が、前記第１の端部とは前記軸方向の反対側に位置する第２の端部よりも強く押圧されるものであり、かつ、

前記感光層における前記第１の端部の動的押し込み硬さは、前記感光層における前記第２の端部の動的押し込み硬さに比べて大きいことを特徴とする、電子写真感光体。

【請求項９】

前記感光層は、前記第１の端部における動的押し込み硬さが、前記第２の端部における動的押し込み硬さの１．０３倍以上１．２５倍以下である、請求項８に記載の電子写真感光体。

【請求項１０】

前記感光層は、前記第１の端部における動的押し込み硬さと前記第２の端部における動的押し込み硬さとの差が２５以上１７０以下である、請求項８または９に記載の電子写真感光体。

【請求項１１】

前記感光層の動的押し込み硬さは、前記第２の端部から前記第１の端部に向かって漸次大きくなっている、請求項８から１０のいずれかに記載の電子写真感光体。

【請求項１２】

前記感光層の動的押し込み硬さは、前記第２の端部から前記第１の端部に向かって段階的に大きくなっている、請求項８から１０のいずれかに記載の電子写真感光体。

【請求項１３】

前記感光層は、光導電層および表面層を含んでなり、

前記光導電層および前記表面層のうち少なくとも一方は、無機物系材料を含んでいる、請求項１から１２のいずれかに記載の電子写真感光体。

【請求項１４】

円筒状基体上に感光層を形成してなる電子写真感光体と、該電子写真感光体の軸方向において前記感光層の第１の端部を該第１の端部とは前記軸方向の反対側に位置する第２の端部よりも強く押圧する押圧部材と、を備えており、

前記感光層における前記第１の端部の厚みは、該感光層における前記第２の端部の厚みに比べて大きいことを特徴とする、画像形成装置。

【請求項１５】

前記感光層は、光導電層および表面層を含んでなり、

前記光導電層および前記表面層のうちの少なくとも一方は、前記第１の端部における厚みが前記第２の端部における厚みに比べて大きい、請求項１４に記載の画像形成装置。

【請求項１６】

前記光導電層および前記表面層のうちの少なくとも一方は、前記第１の端部における厚みが、前記第２の端部における厚みの１．０３倍以上１．２５倍以下である、請求項１５

に記載の画像形成装置。
【請求項１７】
　前記光導電層は、前記第１の端部における厚みと前記第２の端部における厚みとの差が１．０μｍ以上７．５μｍ以下である、請求項１５または１６に記載の画像形成装置。
【請求項１８】
　前記表面層は、前記第１の端部における厚みと前記第２の端部における厚みとの差が０．０３μｍ以上０．２１μｍ以下である、請求項１５から１７のいずれかに記載の画像形成装置。
【請求項１９】
　前記光導電層および前記表面層のうちの少なくとも一方の厚みは、前記第２の端部から前記第１の端部に向かって漸次大きくなっている、請求項１５から１８のいずれかに画像形成装置。
【請求項２０】
　前記光導電層および前記表面層のうちの少なくとも一方の厚みは、前記第２の端部から前記第１の端部に向かって段階的に大きくなっている、請求項１５から１８のいずれかに画像形成装置。
【請求項２１】
　円筒状基体上に感光層を形成してなる電子写真感光体と、該電子写真感光体の軸方向において前記感光層の第１の端部を該第１の端部とは前記軸方向の反対側に位置する第２の端部よりも強く押圧する押圧部材と、を備えており、
　前記感光層における前記第１の端部の動的押し込み硬さは、該感光層における前記第２の端部の動的押し込み硬さに比べて大きいことを特徴とする、画像形成装置。
【請求項２２】
　前記感光層は、前記第１の端部における動的押し込み硬さが、前記第２の端部における動的押し込み硬さの１．０３倍以上１．２５倍以下である、請求項２１に記載の画像形成装置。
【請求項２３】
　前記感光層は、前記第１の端部における動的押し込み硬さと前記第２の端部における動的押し込み硬さとの差が２５以上１７０以下である、請求項２１または２２に記載の画像形成装置。
【請求項２４】
　前記感光層の動的押し込み硬さは、前記第２の端部から前記第１の端部に向かって漸次大きくなっている、請求項２１から２３のいずれかに記載の画像形成装置。
【請求項２５】
　前記感光層の動的押し込み硬さは、前記第２の端部から前記第１の端部に向かって段階的に大きくなっている、請求項２１から２３のいずれかに記載の画像形成装置。
【請求項２６】
　前記感光層は、光導電層および表面層を含んでなり、
　前記光導電層および前記表面層のうち少なくとも一方は、無機物系材料を含んでいる、請求項１４から２５のいずれかに記載の電子写真感光体。
【請求項２７】
　前記押圧部材は、前記電子写真感光体を押圧する押圧部における硬度が、ＪＩＳ硬度（ＪＩＳ　Ｋ６２５３　準拠　タイプＡ　押針質量１８０ｇ、押針高さ２．５ｍｍ）で６７度以上８４度以下である、請求項１４から２６のいずれかに記載の画像形成装置。
【請求項２８】
　前記第１の端部に接続され且つ前記電子写真感光体に回転動力を伝達する回転駆動系と、前記第２の端部を回転可能に支持する軸受フランジと、を有する回転機構をさらに備えている、請求項１４から２７のいずれかに記載の画像形成装置。